

諸人のここに学びて—校長室から見える風景—(41)

春の伝統行事「集団訓練」 —「新入生」から「豊高生」へ—

先週23、24日に新入生の「集団訓練」を実施しました。創立百周年記念誌によれば、昭和51年に豊高生活オリエンテーションをかねてホームルーム作り、集団規律の訓練を目的に始められたそうです。江原と神鍋間13キロ余りを徒歩で往復するというこの「集団訓練」は新入生の春の伝統行事として今も続いています。

今年度の集団訓練の往路はここ何年かのうちでも気温が低く、雨の多いコンディションであったため、途中バスを利用しました。生徒たちの体調が心配されましたが、生徒はみな元気にまずは神鍋体育館での仲間づくりのプログラムを楽しみました。ホーム(クラス)を越えて年次全員が仲良くなってほしいという年次団の思いが感じられました。

その後、宿舎のホテルに歩いて移動。ホテルの暖房がありがたく、その後のプログラムも順調に進みました。翌日は、学習や講話、校歌コンクールなどかなり濃い(!)スケジュールをこなしました。校歌コンクールでは各ホームとも張りのある大きな声で校歌を歌ってくれました。また、進路指導部長講話では、授業の大切さや模試のことなどを聞き、改めて気持ちが引き締まったようでした。

昼食にカレーをいただき、いよいよ復路です。前日とは打って変わった穏やかな天候のもと、元気に宿舎を出発しました。無事江原まで到着しました。81期生のみなさん大変おつかれさまでした。

この「集団訓練」が終われば、いよいよ新入生ではなく「豊高生」です。各ホームのつながり、年次のつながりを深めこれからの高校生活がいつそう充実したものになるように願います。

保護者のみなさまには、準備や送迎など大変お世話になりました。一日目は雨の中の実施となりご心配をおかけしましたが、お子さま方はよく頑張り二日間を終えることができました。また、宿舎のホテルスタッフのみなさま、日高西中学校の校長先生はじめ諸先生方にも大変お世話になりました。ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。



雨の中、歩きました。雨足が強くなる予報のため途中までの歩行となりました。



神鍋体育館での一枚です。



学習の様子



校歌コンクール。どこもいい声が出てました。



復路の歩行中。帰りはいい天候となりました。

